



Komatsu 高校

学校通信

令和 5 年

10 月

阪神優勝

進路課 西坂靖司

小松高校に赴任して 6 年目、学校通信には毎年執筆させてもらっているが、ようやくこの題名で書くことが出来る日が来ました！

阪神優勝は 2005 年以來 18 年ぶり、3 年生が生まれた年以來という、長い期間優勝から遠ざかっていました。これだけ優勝から遠ざかると、連勝すれば嬉しいはずなのに、すればするほど不安になる、という不思議なファン心理が身につけてしまいました。でも、私を含む多くの阪神ファンは、18 年もの間、決して応援を諦めたりはしませんでした。

毎年、3 年生が卒業する前に進路アンケートを実施しています。その中に「3 年生の 4 月に志望していた学校・企業と実際の進路先は同じですか」という質問があります。昨年度「はい」と答えた卒業生は 62.5%、一昨年度は 61.2% でした。逆に言うと、10 人のうち 4 人は、3 年生になってから進路先が変わっている、ということになります。その理由として最も多かったのが「1・2 年生のうちには真剣に考えていなかった」、次いで「学力不足」。学力というのは、1 日や 2 日で身につくものではないから、この 2 つの理由の本質は同じ、要するに 1・2 年生の間に進路に真剣に向き合っていなかった、ということになります。

18 年ぶりの阪神優勝。しかし今年急に強くなったわけではなく、何年も前からのチーム作りや練習等を積み上げた結果が実を結んだものだと思います。3 年生の面接指導をしていると『小学校 3 年生から 10 年間野球を続けているので体力には自信があります』とか『ダンスが趣味で中学校の時から習っています』という自己 PR をしてくれる生徒がいます。野球もダンスも私は出来ませんから、それをずっと続けられるなんて凄いなあ、と思います。自分では気づいていないかもしれませんが、他人から見たら「凄い」と思われる何かを継続できている人は少なくないはずです。

もちろん、好きなことだから続けられてきたのだと思いますが、高校卒業時に選ぶ進路は将来の仕事に直結することが多い。その仕事を続けるには、まず「好き」であること。そして、本当に好きで行ってみたい学校・企業であれば、簡単に諦めないでください。以前勤めていた学校で、東京の看護学校にどうしても行きたくて、不合格になっても何度も何度も受け続けた生徒がいます。10 回くらい受けたでしょうか、最後は「君、また来たの？」と面接で言われたそうです。「その学校に行きたい」という意思是、どの受験生よりも強くアピールできたはず。もちろん勉強も頑張ったでしょうが、無事合格しました。

進路希望先は、3 年生になって慌てるのではなく、なるべく早く決めて、それに合わせた対策が必要です。例えば、自分の志望校に「英検 2 級」が必要だと 3 年になってわかっていても間に合わない可能性が高いが、1・2 年生の時からわかっていたら、計画的に準備できます。自分の将来、1・2 年生のうちから真剣に考えよう。3 年生、今の志望先を諦めることなく、最後まで粘り強く頑張れ！

令和5年 10月行事予定

日	曜	行 事
1	日	つなげ！えひめの文化財（たから）シンポジウム参加 （2年生・文理探究コース）
2	月	
3	火	↑ 中間考査（～10/6）
4	水	↓
5	木	
6	金	
7	土	進研模試（3年）↑
8	日	↓
9	月	スポーツの日
10	火	語の日 校納金引落
11	水	後期HR委員スタート 各種委員会 第1回運転免許取得説明会 新清掃分担
12	木	
13	金	全校集会（進路課） 第2回漢字能力検定
14	土	
15	日	
16	月	登校指導（A班）
17	火	↑ 地方祭
18	水	↓
19	木	校内漢字テスト⑦
20	金	
21	土	土曜課外③
22	日	
23	月	身だしなみ指導
24	火	ウォークラリー大会前健康診断(13:30～) 終了後教職員健康相談 総合健診日（小松保健センター）
25	水	学校生活アンケート
26	木	金①②限授業＋ホームルーム活動＋小松高祭準備
27	金	小松高祭（一般公開）
28	土	土曜課外④（1・2年） 進研マーク模試（3年）
29	日	↓
30	月	
31	火	

<祝 吹奏楽部 四国出場>

第35回全日本マーチングコンテスト四国支部大会に出場することになりました。日頃の練習の成果を存分に発揮して、活躍してほしいと思います。皆様も応援をよろしくお願いします。

